

社会科学習指導

単元名「自動車をつくる工業」

令和6年10月 第5学年 指導者 大井 匡之

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編 第5学年の内容（3）ア（イ）の「工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するような様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること」及びイ（イ）「製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること」に当たる。

本単元では、日本の工業生産において重要な役割を果たす自動車生産について、製造の行程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、教科書、資料集、地図帳やタブレットなど各種の資料で調べたり、学区内にある自動車部品工場を見学したりして学んだことをまとめていく。それによって、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え表現することを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度を養う単元である。

2 研究との関わり

研究主題を「小学校社会科において、自ら学びに向かう児童の育成-自己決定学習を取り入れて-」と設定した。受け身ではなく、自分の意志で行動し学習に主体的に取り組むことが大切だと考える。そのために、社会的な事象に対する興味関心を高めたり自分事として捉えたりすること、学習活動を自分で決めて取り組んだりすることが効果的ではないかと考える。具体的には、つかむ過程の導入において、自動車が自分達の生活に深く関わっていることに触れる。その上で、日本企業の自動車が世界一のシェアを占めていることにも触れ、なぜ日本車が世界一のシェアを占めているかという疑問を提示する。各自が既習事項から学習問題を立てていくと、そこには自動車工業に関わる人々の努力や工夫があるのではないかという意見が出てくることが予想されるので、そのような意見を参考に、学習問題を設定していく。

これまでの社会科の学習でも、自己決定学習を取り入れてきた。本単元でも同様に、自己決定学習を取り入れて学習を進めていく。つかむ過程において、学習計画を立てて、学習内容や学ぶ順番、学習形態、学習方法などを自らが決定できるようにした。学習計画を作成する際は、タブレットのワークシート「学習のすすめ」を活用していく。毎時間のめあてや振り返りの入力にも活用していく。まとめる過程では、日本車が高いシェアを誇る理由や今後の課題などをスライドにまとめたり、児童から出た疑問を自分たちで調べて答えを考えてまとめたり、画像生成AIを活用して未来の自動車や環境・福祉に配慮した自動車を考えてまとめたりするなど、複数の選択肢を設けて取り組ませることで意欲をもって主体的に授業に取り組めるようになってほしいと考えて単元を構想した。

また、校外学習にて学校周辺にある自動車の部品工場へ見学に行くことを計画している。見学して得られた情報と授業で調べて得られた情報を関連付けて興味関心を高めたり、理解を深めたりすることに役立てたい。学習のまとめで作成したスライドを印刷して、お礼状と共に届ける予定である。目的意識をもたせることで学びに向かう児童の育成につなげたい。

3 単元の目標及び児童の実態

	目標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">自動車の製造の行程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解することができる。調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の	<ul style="list-style-type: none">これまで、我が国の国土の様子や食料生産などについて、教科書などの各種資料から必要な情報を読み取ってきた。個別に提示するとそれぞれの資料から読み取ることはできても、複数提示されるとどれが重要か選択し理解できる児童は少ない。これまで、調べたことを新聞にまと

	需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解することができる。	めたりノートにまとめたり、タブレットのスライドにまとめたりして理解を深める活動を経験している。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の製造の行程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問い合わせを見出し、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現することができる。 自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで問い合わせを見いだすような学習活動を進めてきたが、全体的にはそれができる児童は多くはない。 国土や食料生産などの学習では、地形や気候などの特色から生活や産業などを関連付けて考えて、その地域に暮らす人々や働く人々の様々な工夫や努力を考えることができた。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの授業でも自己決定学習を少しずつ進めてきた。自ら学習問題や学習計画を立てたり、児童から出た疑問を基に学習を進めたりするなど、スマールステップで児童に委ねる部分を増やしてきた。

4 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の製造の行程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の製造の行程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問い合わせを見いだし、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全8時間：本時第7時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜ日本車が世界一のシェアを占めているのか」という疑問を意識して、学習問題をつくることができようとする。 導入のプレゼンテーションを見て、学習の見通しをもつ。（★スライド） 「なぜ日本車が世界一のシェアを占めているのか」という疑問を捉え、既習事項を参考に答えの予想を立てる。 教科書で自動車の移り変わりや日本の自動車工業について知る。 学習問題をつくる。（★ミライシード） 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 自動車の移り変わりや日本の自動車工業などに着目して、問い合わせを見出している。 「なぜ日本車が世界一のシェアを占めているのか」という疑問を捉え、学習問題をつくるとしている。 <p>＜観察・タブレット・ノート（思①）（態①）＞</p>

[本時のめあて・課題等] 日本の自動車工業について考え、学習問題をつくろう。

		<p>[学習問題] 自動車づくりに関わる人々は、世界一のシェアをほこる日本車をつくるために、どのような工夫や努力をしているのか探ろう。</p>			
2		<p>■自己決定学習による学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもつことができるようとする。</p> <p>□ミニレッスンで自動車工業の大まかな特色を知る。</p> <p>□自動車工業についての疑問点を考える。 (★フォーム)</p> <p>□自己決定学習による学習計画を立て、タブレットの「学習のすすめ」に入力する。 (★スプレッドシート)</p>		●	<p>◆学習計画自分で立て、学習問題を解決する見通しをもっている。</p> <p><観察・タブレット・ノート (態①) ></p>
<p>○学習形態（個人やペア、グループ）</p> <p>○調べる内容や順番</p> <p>⇒学習内容例</p> <p>①組み立て工場の仕組みや工夫について ②部品をつくる関連工場の働きや組み立て工場とのつながり ③国内外への輸送・販売における工夫と海外生産について ④環境や福祉に配慮した自動車の開発について</p> <p>○調べる方法（教科書や資料集、タブレットなど）</p> <p>○学習のまとめ方（下記の例）</p> <p>⇒まとめ方の例</p> <p>①日本車が高いシェアを誇る理由や今後の課題などをスライドにまとめる。 ②児童から出た疑問を自分たちで調べて答えを考えてまとめる。 ③画像生成AIを使用して、未来の自動車や、環境や福祉に配慮した自動車を考えてまとめる。 ④工場見学した小倉クラッチについてまとめる。</p>					
<p>[本時のめあて・課題等] 自動車工業についての疑問点を考えて、学習計画を立てよう。</p>					
追究する	3 ・ 4 ・ 5	<p>■自己決定学習により自動車工業に関わる人々の工夫や努力などを調べて理解することができようとする。</p> <p>□学習計画を元に、自己決定学習で自動車工業の各工場や流通、開発などに関わる人々の工夫や努力などについて自分たちのペースで調べていき、ノートやタブレットにまとめていく。 (★スライド等)</p> <p>□早く進められた児童は、それぞれが選んだ学習のまとめ方の内容について調べていく。 (★スライド等)</p>	○	○	<p>◆必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>◆自己決定学習により学習の進め方を考え主体的に授業に取り組んでいる。</p> <p><観察・タブレット、ノート (知①) (態①) ></p>
<p>[本時のめあて・課題等] 自動車工業に関わる人々の工夫や努力などを調べよう。</p>					
	6	<p>■自動車工業に関わる人々の工夫や努力について、グループで発表し合い理解を深めることができる。</p> <p>□工夫や努力の中で特に優れていると感じた点をグループで発表する。 (★スライド等)</p>	○		<p>◆情報を共有することで、自動車工業に関わる人々の工夫や努力について、理解を深めることができる。</p> <p><観察・発表・タブレット、ノート (知①) ></p>

		<p>□全体で情報共有をする。 □発表を聞き、新たな疑問点がないか考える。</p> <p>[本時のめあて・課題等] 自動車工業について調べたことを発表しよう。</p>			
まとめる	7 本時	<p>■自分で決めたまとめの内容について自己決定学習により更に調べて、主体的に学習を進めることができようとする。</p> <p>□学習計画で決めたまとめの内容について、調べた情報をまとめたり、自分達で出した疑問点について新たに調べたり、画像生成AIを活用して未来の自動車などについて考えて表現したりする。 (★スライド等)</p> <p>□自動車づくり発表会（仮）の準備をする。 (★スライド等)</p> <p>[本時のめあて・課題等] 疑問点や未来の自動車などについてさらに調べたりまとめたりして、発表会の準備をしよう。</p>	○		<p>◆学習計画で決めたまとめの内容について、自己決定学習により更に調べて、主体的に学習を進めている。 <観察、タブレット、ノート (態①) ></p>
	8	<p>■自動車生産に関わる人々は、様々な工夫や努力をして自動車生産を支えていることを理解することができようとする。</p> <p>○自動車づくり発表会（仮）として、自動車工場における疑問点や未来の自動車など、各自がまとめたものを発表する。 (★スライド等)</p> <p>○単元のまとめを行い、日本車が世界一のシェアを占める理由や自動車工業の未来などを考える。</p> <p>[本時のめあて・課題等] 自動車づくり発表会をして、学習のまとめをしよう。</p>	●	●	<p>◆自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。</p> <p>◆自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。 <タブレット、ノート (知②) (思②) ></p>

II 第7時の学習

1 ねらい 自己決定学習の設定や児童から集めた学習の疑問の活用、未来の自動車を考える際の画像生成AIの活用などを通して、自動車工業に関わる人々の工夫や努力、新たな疑問点や未来の自動車などについてさらに調べて、主体的に学習を進めることができようとする。

2 展開

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (★) (導入5分) S：自動車工業についてもっと調べたいな。 S：未来の自動車のことを考えたいな。	○前時の学習を振り返ることができるよう、前時でまとめた児童のスライドを紹介する。 ○目的意識をはつきりさせるために、次時の発表会やまとめたスライドを見学先の工場に送ることなどゴールを意識させる。
<めあて・課題等>	
疑問点や未来の自動車などについて更に調べたりまとめたりして、発表会の準備をしよう。	

<p>2 自己決定学習 (展開 30 分)</p> <p>○自分で学習形態や学習教材、学習方法を選択し、学習を進めていく。</p> <p>S : 今日は友達と教え合いながら進めていきたいから、ペアで協力して調べてみたい。</p> <p>○自分で決めたまとめの内容について調べた情報をまとめたり、自分達で出した疑問点について新たに調べたり、画像生成AIを活用して未来の自動車などについて考えて表現したりする。 (★)</p> <p>S : みんながしてくれた疑問点も参考にして調べていこうかな。</p> <p>S : 画像生成AIで作った未来の車のデザインを、まとめのワークシートに取り入れてみようかな。</p> <p>○自動車づくり発表会（仮）の準備をする。</p> <p>S : 見やすいようにスライドを工夫しようかな。</p>	<p>○自己決定学習がスムーズに進むように、児童から集めた疑問点を参考にしたり、未来の自動車を考える際に画像生成AIを活用したりするなど学習環境を整えておく。</p> <p>○調べ学習が進んでいる児童の学習が続けられるように、複数の内容について自由に調べたり、タブレットで共有されている友達のスライドを閲覧したり、友達と意見交換をしたりするよう促す。</p> <p>○調べ学習が進まない児童への支援として、教科書の中の調べる箇所を提示したり、学習が進んでいる児童がミニ先生として友達にアドバイスをしたり、共有されている友達のスライドを参考にさせたりする。</p> <p>◆評価項目</p> <p>自ら決めたまとめの内容について、自己決定学習によりさらに調べて、主体的に学習をすすめることができる。 <観察、タブレット、ノート（態①）></p>
<p>3 本時を振り返る。 (終末 10 分)</p> <p>○本時の学習を振り返り、何を学んだか、どのようにして学びが進んだか、新たに生まれた疑問などを「学習のすすめ」に入力する。 (★)</p> <p>S : 未来の自動車は空も飛べるし、自動運転も進んでいるのだろう。</p> <p>S : 友達と協力しながら学ぶことで、たくさんの情報を知ることができた。</p> <p>S : 今はハイブリッド車が環境に配慮した車として多く出回っているけど、水素自動車も環境にいいのだろうか。</p> <p>○次時の予告を知る。</p>	<p>○本時の振り返りがしっかりとできるように、本時の学習で何を学んだか、どのようにして学びが進んだか、新たに生まれた疑問などを入力させる。</p> <p>○主体的に取り組めるように、振り返る方法はタブレットのワークシート以外にノートへの記入でも構わないことを伝える。</p>

3 板書計画

<p>めあて: 疑問点や未来の自動車などについてさらに調べたりまとめたりして、発表会の準備をしよう。</p> <p>【自己決定学習】 何を…学習内容 だれと…個人、ペア、グループ 調べ方…教科書、資料集、タブレットなど まとめ方…タブレット（スライド）、ノート、新聞</p>	<p>スライド画面を プロジェクターで表示 ※クラスルームを揭示 して、 児童のスライドを表す</p>	<p>【自動車工業のミニレッスン】 ①組み立て工場の仕組みや工夫について ②部品をつくる関連工場の働きや組み立て工場とのつながり ③国内外への輸送・販売における工夫と海外生産について ④環境や福祉に配慮した自動車の開発について</p>	<p>学習のまとめ の内容例</p>	<p>ワークシート例</p>
---	---	---	------------------------	----------------